令和７年度　施設評価会議報告書

令和８年３月３１日
認定こども園さめ保育園

【保護者アンケート結果報告】
（提出率８５％）
昨年のアンケートでのご意見と保育園の行事反省を参考にし、子ども達が意欲的に参加できるよう環境を整え安全を確保しながら、園行事を実施することが出来た。
また、伝統的な地域行事への参加もあり、行事を通して日頃の保育内容や子どもの成長を保護者、地域の皆様に伝えることが出来た。保育園まつりは８月下旬に行ったことで、「暑さも落ち着いたちょうど良い時間帯だった」という意見が多く寄せられた。運動会や発表会についても「子ども達が意欲的に取り組んでいる姿を見る事が出来た」「子どもの成長が感じられて嬉しかった」と高評価をいただいた。
その他、「行事の連絡は早めにして欲しい」「地震や災害時、開園の有無や園児の安否確認、園の状態について」「メール配信の有効活用」等の意見があった。
保護者と職員のコミュニケーションを図り情報共有に努め、今後もより楽しい行事になるよう、検討を重ねていきたい。

【職員自己評価報告】
「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」に基づき、０歳児から小学校就学前までの園児一人ひとりの発達段階を踏まえた教育、保育に取り組んでいる。職員は全体的な計画や年間目標をもとに、月及び週の計画を作成し、園児の理解を深めたり、教育、保育を振り返り、環境構成や園児の実態や季節を考え工夫し保育した。また、０、１歳児や個別の支援が必要な園児については一人ひとり丁寧に対応し、職員全体で情報共有に努めた。
また、自己評価では「保育士としての資質向上」の評価が７割だった。職員が研修に参加し学んだことを園内研修として、ロールプレイ形式で共有した。
子育て支援の推進として、毎月「さめっこ広場」を開催しており入園した園児もいたが、参加人数は少なかった為、次年度は更に多くの方に参加してもらえるよう情報発信の工夫、ニーズに応じた活動内容を検討していく。今後も保護者にとって必要な情報提供等が出来るようにしていく。

【施設関係者評価結果報告】
園の教育、保育目標のもと、適切に運営が行われていると評価をいただいた。
同年齢及び異年齢で遊んだり行事に取り組んだり、常に連携を図りながら教育、保育を行っている。地域学校との連携、交流、地域行事への参加、卒園児も参加できる園行事があって良い。
行事終了後は職員会議で反省点や良かった点を話し合い次回につなげるようにしている。
保護者懇談会が年２回あり、保育者としっかりと情報交換、成長の共有ができるのが良い。
随時、感染症発症状況を掲示して知らせている。だが、職員の研修参加状況が保護者は分からないということなので、次年度からは、職員の研修不在を掲示するようにしていく。
災害時には開園の有無等のメール配信を行って欲しいとの意見があった。

【総評】
令和７年度は年長、年中児が地域行事、園外行事へ参加し、社会性を学んだり自信に繋げることが出来た。園児一人ひとりの育ちを温かく見守りながら、保護者の皆様が相談しやすい、話しやすい雰囲気づくりを心掛けていきたいと思う。
今後も保護者アンケートでの意見や感想を参考にしながら今後もより良い運営が出来るようにしていきたい。